

外国人講師のマンツーマンレッスンが受けられることで人気の、学習塾専用オンライン英会話「OLECO」（スタディラボ提供）。小学校における英語の教科化、4技能向上を重視して難易度が上がった中学校の新学習指導要領導入なども背景に、さらにそのニーズが高まっている。そんな中、京都府下で最多のOLECO受講生数を誇るのが「個別塾」だ。塾長の武田星子氏と教室長の織川真緒氏に、そのポイントと運用思想を聞いた。

## オンライン英会話「OLECO」で 楽しさと成果の両立を

プリント量に物足りなさを感じていたんです。例えば、他の受講生に自分の英語を聞かれない性格の生徒もいます。すると、レッスン中にほとんど発話の機会がないケースもあり、「これで子どもたちは本当に楽しいのかな？」と。

そんな折、その教材がサービス終了となり、新しいものを導入する必要性が出てきました。検討条件としては、OLECOのようにマンツーマン指導であることが前提でしたね。

織川 加えて、英語4技能系の教材、特に「話す」聞くに関しては、動画などを視聴するオンデマンド式のものも多いです。やはりライ

ブで会話できることも重視していたポイントです。

——OLECOの基本的な運用方法は？

武田 弊塾は個別指導の「個別塾」と自立式の「個別塾+（プラス）」、小学生の習

いごとが中心の「ココキッズクラブ」という三つのブランド領域を軸に展開中です。OLECOは主にココキッズクラブで「オンライン英会話付き英検教室」として打ち出していますが、中学生の受講者も少なくないですよ。

ただ教科化は、必然的に「英語嫌い」の子を生み出してしまふ側面があるのはとても残念で……。成績評価されることで優秀の要素が加わり、苦手意識を持ってしまふからです。私は英語が大好きなので、その出会いの時点で英語嫌いになる子が生まれてしまふのは本当に悲しいです。

織川 英語学習に関する問い合わせは増えていますね。英語が「教科」になって成績評価をされるようになり、そこに不安を感じられるご家庭が多いんだと思います。

やはり私たちは、英語を好きになって欲しい。だからOLECOの入会面談時も、英語の「学習」というより、「英語が好きになるよ！楽しいよ！」という姿勢で提案に臨んでいます。

昔の「英会話教室」と言えば、英語が好きでもっと力を伸ばしたい子が通う印象でしたが、今は明らかに「英語が嫌いで、苦手を克服する」

武田 弊塾はどんな教育内容であれ、「一人ひとりを大切に」目の前の生徒のた

めに」という理念から絶対にぶれず、常にここへ立ち返りながらものごとを考えます。すると、先ほど申しました「発話機会が少ない」ことはやはり楽しくないですし、理念にも反すると思うんです。そういう意味で、OLECOの持つ特長と弊塾の目指すものが合致していたのも良かったですね。

「英検教室」で打ち出すも、まずは楽しむことから

——「英検教室」の要素を入れているのはなぜですか？

武田 何らかの形で、成果の「見える化」が欲しかったからです。単なる英会話だけでは、一般的な大手英会話教室との差別化になりませんしね。

ただ、広告的には「英検」を強めに打ち出してはいますが、実際にやってみるとそこに特化するにはまだ少



生徒たちのようすからも「楽しい！」という気持ちが伝わってくる

し早いかな、という印象です。

——保護者さんからは「英検対策をもっとやって欲しい」と言われませんか？

織川 そういう声もありますが、逆に「だからこそ、まずは楽しむことから始めませんか？」と提案しています。オンラインレッスンの様子は動画で撮影して、面談の際などその都度保護者さんにもご覧いただいております。

武田 個別指導（教科学習）との併用率が最も高いのもOLECOです。現在、40%

実際に楽しみながら上達しているのが分かるため、きちんとご納得いただけるようです。

やはり、いきなり英検の「学習」というスタンスを取ってしまうと、子どもたちに余計なものを背負わせてしまいかねません。そこで弊塾では、まずは楽しむことを重視した50分コースと、次のステップとして英検取得にチャレンジする80分コースの2本立てで構成しています。

——OLECO導入に伴う、生徒数や売上など業績面への影響はいかがでしょう？

織川 弊塾ではプログラミングや速読の講座も開講していますが、そこからの追加受講に繋がっていますね。逆のパターンもあります。

武田 個別指導（教科学習）との併用率が最も高いのもOLECOです。現在、40%



マンツーマン会話で、シャイな性格の子も話しやすい

の生徒が併用受講しています。英会話は「学習」に近い印象があるからかもしれないですが、やはり楽しむことは忘れずに取り組んで欲しいですね。

「授業」ではなく「教材」という認識で

——OLECOをつまく活用する上で、運営上で意識されていることは？

織川 「なぜ英会話をやるのか」を社員全員が共通言語で共有することです。

例えば社内でも、面談担当者とOLECOの担当者が異なる場合もあるでしょう。ここで認識や熱量が違うと、誠実で一貫性のある提案ができません。

私たちは英会話を通じてその子の将来をどうしてあげたいのか。ここを弊塾の理念に基づきつつ、徹底的に意識統一します。

武田 OLECOの良さは、1対1のオンラインレッスンであっても講師に丸投げするのではなく、私たちが介在できるところだと思っています。その子にとってベストなレッスンを組むためにアサインできるんです。レッスンは「授業」ではなく、あくまで「教材」と捉える感じでしょうか。今後の英語教育はまだ不透明な部分も多いですし、引き続きうまくカスタマイズを重ねていきたいですね。